

奥会津だより

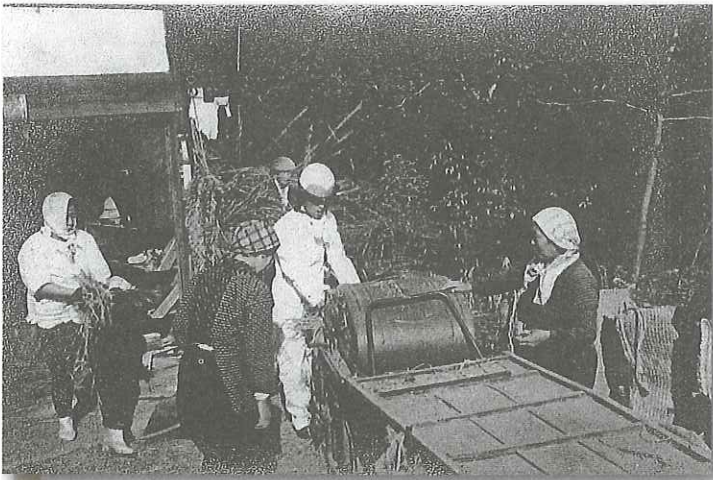


ムシロに広げられた大豆
短い秋の陽を浴びて滋養を蓄える
良質なタンパク源は
正月からの食卓を彩る

写真：田沼隆之

農作業する祖母

伊藤 沙稀★柳津町立西山中学校 二年



私の祖母は、昭和十八年八月二十八日生まれで六十六歳。
この写真は、祖父母、曾祖父、親戚の人達で脱穀をしている写真だそうです。写っている機械は、自動脱穀機というものです。

この頃嫁に来たばかりで何も分からなくて大変だった。生活してる中でも、大変

だったことなんていつペーある。洗濯物を干す時だって今みたいにハンガーなんてものはねがったから、木の棒にぶら下げて干してた。道路なんかだつて、コンクリートなんかじゃなくて、砂利道だった。

祖母は、当時のことをじっくり思い出しながら懐かしそうに話してくれました。

私はこんな話を初めて聞いて、昔は今よりも道路などが整備されていたなくて、生活をするのにもとても大変だったと知りました。農作業をするのにも親戚の人達など大勢でやっていた。今私達はとても便利な生活を送っているんだなあと改めて思いました。



取材ノート

伊藤 沙稀さん宅(西山)

で聞く

(2011年11月6日)

祖母	伊藤 由美子さん (昭和18年生)
孫	伊藤 沙稀さん (西山中3年)



Q: 沙稀さん、この写真を選んだ理由は？

沙稀さん: ばあちゃんに、古い写真ある？って聞いてばあちゃんを選びました。

Q: 結婚したのはいつですか？

由美子さん: 昭和41年。この脱穀機の写真は昭和42年に撮ったの。

Q: 自動脱穀機というのはどんなものですか？

由美子さん: 今で言うと、ハーベスタなのよ。今ではハーベスタも見かけない。

いけれど。手で一把づつやるの。エンジンがついているから自動、「ジダツ」(自脱) っていうの。

Q: この白い服の人はだれでしょうか？

由美子さん: 白いつなぎの服にヘルメットしている。ウチのダンナ、カメラとかギターとか好きで、ハイカラさんだったの。

Q: 洗濯物の話もありました、他に大変だったことは何ですか？

由美子さん: すべて大変だった。高校卒業して、坂下町で事務員をしていたから、あまり百姓のことは知らなかった。嫁に来て、畑に出て逆に畝をたてて他の嫁さんに笑われた。それくらいだった。すべて大変だったなあ。車に乗れるわけじゃないし。...

Q: 結婚される前に東京に暮らしていたのですか？

由美子さん: 言葉使いも違ってしまつて、こちらに来てもしばらく「あつそう」と言うので昭和天皇みたいだ、なんて。ウチのダンナは東京に住んでても「売ってくんつえ」なんて飾らないところもあった。

Q: 沙稀さん、自分の文章が本になった感想は？

沙稀さん: 嬉しかったです。学校の先生に「この写真はいつ撮影されたのかな？」とかきかれました。

由美子さん: 私が中学生の時、孫(沙稀さん) ほど背が高くなかった。稲を運ばされるのが嫌だった。それから、「だんごさし」も忘れられないな。学校ひまもらつてきて、太い幹のだんごさしの木を柱のところで支えて持つていなければならぬ。父親は炭焼きに行つていて家にいない。母親とじいちゃん、おばあちゃん、おとうさん、だんだん重くなって、動く。「ちゃんとかんでいろ」ってじいちゃんに叱られるし。それが3本も挿すから大変だった。

Q: 沙稀さんたちや今の子ども達の生活をみていてどうですか？

由美子さん: 羨ましいなあ。羨ましい反面心配だ。こんなに便利な世の中で生きていて、いざって言う時に耐えられるかな？って心配だなあ。...

里山の生き物たち

ツキノワグマ

冬眠に備えて食料を求め、里近くまで出没して害獣とみなされることも多いが、放棄された里山の荒廃がその大きな要因となっていることも忘れてはならない。ふゆごもりのためには充分な体脂肪が必要だ。写真は、親とはぐれて迷子になっていたという保護された子熊。



祈りの世界 双体道祖神

昭和村から小野川集落と柳津方面に分かれる三叉路。落葉の中に、並立した酒器を持つ双体の道祖神。安永二年 五月吉日の文字が、舟形光背に大胆にも斜めに彫られている。

足元にも、判読は不明だが大きな文字。秋の陽の中、むつまじく肩を組んでいるように見える。

(昭和村 小野川地区)



薬になる野草 ゲンノショウコ



名前の由来は「現の証拠」。たちどころに薬効が現われるという名前のとおり、即効性のある整腸剤として、下痢などに古くから用いられてきた。夏の開花期に全草を採取して干しておき、必要に応じて煎じて飲用する。写真は、秋に種がはじけた姿。ヨーロッパの街灯の傘のようでもあり、神輿の頭のようにも、子どもにとっては格好の遊び道具でもある。

守り神さま



辛いときにもうれしいときにも、いつもお守りくださっている地藏さま。ああ、やっとお参りできました。うれしいなあ。団子と煮物とおふかしと、おいしい水とお菓子もお供えて、これで安心。また参ります。どうかみんなをお守り下さい。地藏さま。

ていねいな暮らし

写真・文 竹島 善一

集落のはずれなのか、入り口なのか。

田のあぜに「巳待供養」と彫られた石柱がある。小枝の白布は護符か魔除けであろう。山裾からの煙が空へ上ってゆく。

ここには静謐な祈りがある。

昭和58年10月 金山町



Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を買おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「売ってくんつえ」 ヒント：p2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、南会津町館岩の「ベグルコースター」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2011年12月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号66号で発表いたします。



◎64号「コドノサマ」の答え：「蚕」

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー

お便り紹介

- きびしい自然の中で暮らす人々の知恵や工夫、そして何より、やさしい笑顔にいやされます。(只見町 Y.Nさん)
- たまたま道の駅「しょうなん」でこの便りを見つけました。自然と共生している皆さんがとても優しく、代々受け継がれている生活の知恵がスバラしいと思いました。(牛久市 C.Kさん)
- 幼い頃、親戚の家でお蚕様を飼っていて、桑の葉を食べる音が賑やかで、雨が降っているような音でした。読んでいて懐かしく思い出されました。(東京都 K.Iさん)
- 今夏の水害の最中に伊南に移り住み、奥会津の豊かな歴史ある祭や自然にふれ、忘れていた大切なことを呼び起こされたような気がしています。自然の力への畏れとともに、人間の無力やおろかさも。(南会津町 O.Eさん)

奥会津だより
無料送付のご案内

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

奥会津振興センターより

11名が「奥会津案内人養成コース」を満了されました。

「奥会津大学」では、今年度も奥会津案内人養成コースを開催し、新たに11名の方に「修了認定書」が授与されました。(10/26)

●奥会津案内人養成コース(第2期)
平成23年7月6日～10月26日(全13回)
参加延べ人数は197名でした。

●11月より、養成コース修了者を対象に奥会津案内人実践コースを開催いたします。



写真：11名の案内人を囲んでの記念撮影

新スタッフの紹介

期間満了のため3名が退職となり、11月より緊急雇用制度にて新たなメンバーが加わりましたのでご紹介させていただきます!!



奥会津ファンクラブ
運営員
青木 由樹

奥会津には素晴らしい自然や文化など魅力あるものがたくさんあり、そのような事業に携わることができ嬉しく思います。奥会津地域の活性化に向けお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

11月中旬～1月中旬

奥会津イベント情報

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
11月23日(祝・水)	こぶし館新そばまつり	金山町	金山町活性化センターこぶし館	金山町活性化センターこぶし館 0241-55-3334
12月7日(水)	奥会津大学講座(ブランディングの事例と連携のポイント講座)	協議会	金山町開発センター	奥会津大学実行委員会事務局 0241-57-2240
12月中旬	会津高原南郷スキー場オープン	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場センターハウス 0241-73-2111
12月17日(土)	たかつえスキー場オープン	館岩地域	たかつえスキー場	たかつえスキー場 0241-78-2220
12月23日(祝・金)	柳津温泉スキー場オープン	柳津町	柳津温泉スキー場	財団法人やないづ振興公社 0241-42-2302
12月23日(祝・金)	フェアリーランドかねやまスキー場オープン	金山町	フェアリーランドかねやまスキー場	オープン前 金山町活性化センターこぶし館 0241-55-3334 オープン後 フェアリーランドかねやまスキー場 0241-54-2022
12月23日(祝・金)	只見スキー場オープン(～3月31日まで)	只見町	只見スキー場	只見スキー場管理事務所 0241-82-2304
12月23日(祝・金)	会津高原高畑スキー場オープン	伊南地域	会津高原高畑スキー場	南会津町観光物産協会伊南支部 0241-76-2517
12月27日(火)～29日(木)	第19回カルフカップ兼福島県スキー連盟会長杯 クロスカントリースキー大会	檜枝岐村	クロスカントリースキー場	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
1月1日(日)	元朝詣り	柳津町	福満虚空蔵尊圓蔵寺	柳津観光協会 0241-42-2346
1月1日～2日(祝)	只見スキー場 新年歓迎イベント	只見町	只見スキー場	只見スキー場 0241-82-2304
1月4日(水)～6日(金)	第23回檜枝岐カップスキー大会	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
1月7日(土)	七日堂裸詣り	柳津町	福満虚空蔵尊圓蔵寺	柳津観光協会 0241-42-2346
1月14日(土)	鳥追い	三島町	松原、滝谷地区	三島町教育委員会 0241-48-5599
1月14日(土)	両原早乙女踊り	昭和村	昭和村両原地区	昭和村役場産業建設課 0241-57-2117
1月16日(月)・17日(火)	奥会津大学講座(「四つの満足」が商売繁盛のコツ講座、 儲けのカラクリ・原価のヒミツ講座)	協議会	三島町交流センター山びこ	奥会津大学実行委員会事務局 0241-57-2240
1月～3月	里山スノーシュートレッキング	伊南地域	南会津町多々石地区ほか	南会津町観光物産協会伊南支部 0241-76-2517

各地で伝統行事が行われます!(小正月)

サイノカミ：1月14日(土)～15日(日)各町村

※地区によって日付が異なる場合があります。

伊南川・只見川 再生復興フォーラム

第1部「水害にどう向き合うか」

第2部「復興へ向けた河川活用を考える」

日 時：平成23年11月23日(水・祝)
13:00～16:00

会 場：南会津町伊南会館

定 員：200名

問合せ：奥会津振興センター TEL.0241-48-5525



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：11月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。